（十五日夕刊）

休刊　大祭日　第一　第三日曜

定價　一ヶ月　部二錢　郵税六十錢　十五錢

廣告料　壱行六十錢　指定廿錢　增

発行兼編輯印刷人　福島縣平町田町十六番地　鹽沼館輔

發行所　磐城新聞社　電話五六四番

平舘の一月と二月（下）

——シネマニアのメモ——

島田良彦

「傘張剣法」

私が日活の時代劇監督に對する期待のうちで最も大きいのは辻吉郎と伊藤大輔へのそれである。辻吉郎は「金四郎半生記」あたりから漸く意識的轉向を見せたとはいへその表現は幼ち極まるものであつたにもせよ、この喜ばしき尖鋭なる意識の把握を私達は讃ねなければならない。「傘張剣法」は前作よりも更にすぐれた意識的題材を有つて。そしてこの題材に對する監督者の取扱ひも露骨すぎる程、はつきりして居た。序でに言ふが、このシャシンは其の筋（どうもハッキリしない筋だ）の檢閲網に引つかゝつて二十四米かの尖鋭なる場面と、可成に煽動的興奮を帶びた四五枚の字幕をカットされてゐたことである。つまり我々が見たシャシンは作者の肝心の狙ひ所が奪はれてゐるのである。辻吉郎はカモフラージュに就いて尚一層の研討が必要である。等々と並べ立てゝ見て、さて思ふのは、當夜平舘で私と一緒に見てゐた多くの客さんのうち、このシャシンから作者の意圖を汲み取ることの出來た人が果して幾人あつたであらうかと云ふことである。

「愛の風景」

この明朗たる近代的センチメンタルエソス。山本嘉次郎の才筆と田阪具隆の才腕は慾なすぐれた醸案物を見せてくれる。オーバーヘンリイの原作は、たれか三十枚足らずの短かいものであつたこの素材を山本次郎は大胆にアダプティングを遂行した、田阪の監督振りも練つてゐた、伊佐山三郎の軟調なカメラと協力して、どんやらにオーバーヘンリイらしい匂ひも漂はせて——。この映畫は、私は二年ほど前の彼の傑作「結婚二重奏」をそゞろに憶ひ起したことであつた。

資本主義社會機構の下に怯ねながら、かよはい動物のやうにつゝましく生活しつゝある貧しい人達の貧しい愛の風景。しかも之はまことにすぐれた。風景畫であつた。たゞ私は田阪具隆が素讀の敬へを西岡源水にうけ、皇學の根本義を井澤蘭齋のものにうけました。

その中にも、いや深まきりゆくのは、高辻公家の雑掌、柴田主計との交情でした。肝膽相互ひに照らしあつて、年齢に二十歳の間隔があるにもかゝはらず、いつか、二人は、年齢一壁をとり除いた親しい朋友になつて居りました。

それは、彦九郎二十歳の秋のことでありました。

その頃、幕府所司代の目は、益々鋭く勤王諸家の上に光つてゐて例の同心、飯岡佐三郎始め、幾多の目付同心は、犬のように、京洛の夜を騒がせて居りました。

或る夜。

西岡源水の家を辭し去つた彦九郎は、歸宅の途次、例に依つて、三條の橋畔に佇ろ。

「おゝ、抜きやがつたな」

微かな叫びが、捕吏の口から洩れました。

「たゝ、抜いた」

彦九郎は、おく迄、靜かに事を片付けようと思つて、それに應じました。

「その繩もつ手を放せばよし、さ無くばこの大刀をお見舞ひ申すぞ」

「云ふな、逆賊！」

捕吏は、かん高く叫びました。

「なにつ！逆賊とは」

「れゝ。こちらにはちやんと手が廻つてゐるんだ」

「無禮な、逆賊呼ばはり！……」

「ねゝつ！しやらくさい。

求む人言を容れよ▲九案焦り心を抑へ冷靜事に倦まざれば大吉と成る

講談

幕末奇傑高山彦九郎（88）

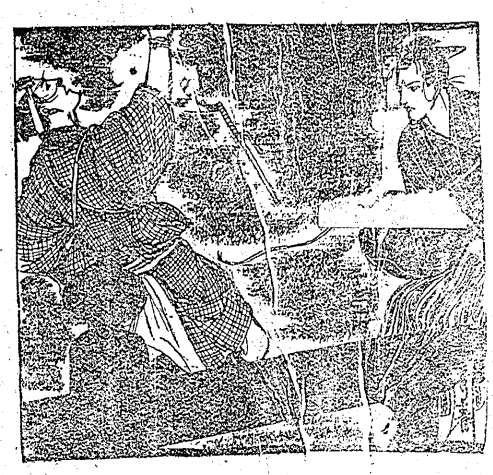
中西洋々作

宿施長春畫

郷家の辨（四）

それから、三年の歳月を彦九郎は京都にもちました……。

宿は、相變らず、川なる廣瀬屋幸兵衛宅にとつて、



めて、はるか、闇の夜空に聳ゆる皇居を拜しました。

「草莽の微臣、高山彦九郎……」

いつもの樣に、自分ノ名を名乘つて、天機奉伺の言葉を述べようとしたとき、彦九郎の背後に、すらりと音もなく影のように忍びよつた。ものがありました。

「はるかに、雲の上の皇居を……」

忍びよつた影は、云ふまでもなく、幕吏の間者働く手先でした。

今こそ繩をうたう〜とあせるのですが、あせればあせる程、心惜いまでに落付いた相手の樣子が、幕吏の心を唯ならず本安に戰かせるのです。

「拜し奉る」

彦九郎の頭は、そのとき山縣大武、竹内武部の殘黨とちやんとこちらには判つてゐるんだ」

捕吏は、抜け目なく繩もつ手をひき絞り乍ら云ひました。

「四の五のぬかさず、神妙にお繩を頂戴しろ！」

「えゝつ、云たせて置けば惡口雜言、もう容赦はならぬ」

叫ぶやきらも闇にひらめいた銀蛇の一閃。

「わつ！」

ついて捕吏の口から悲鳴が上りました。

開業廣告

今般左記ノ通リ開業致候間此段及謹告候

昭和五年三月一日　敬具

宅診 往診　時間午前七時より午後十時迄

但し急患はこの限りにあらず

平町南町六五（元大和田耳鼻科跡）

電話七二二番

專門　内科一般

醫學士　川井重之

女醫　川井安子

川井内科診療所

夜診

胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部

梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

松村胃腸病皮膚科醫院

（平南町電話一〇七番）

診療時間

平町紺屋町　吉田眼科醫院

カバンと帽子

入學進級には

ゼヒ「ツルヤ」へ

新しい丈夫な品が

得られます

平町四丁目　ツルヤ　電一四〇

貸切自動車の御用命は

昭和タクシーへ

高級車で乘心地の好い

昭和タクシー

平驛前

電話は　三四三番

◎時代ニ適應セル最新式スタデリナ石油コンロ

燃料經濟薪炭ニ勝リ便利ニシテ使用簡易無煙臭點滅調節自在ニシテ体裁モ優美デアリマス

緊縮時代ニ最モ理想的ナ國産品デアリマス

弊店ハ是ガ製造元ト特約シテ極メテ薄利多賣主義ヲ以テ皆樣ノ御需メニ應ジマス是非御試シノ程願ヒマス

◎地球印鶯印　カーバイト

品質優良ガス發生量强大價格低廉

日本石油株式會社特約店

ライジングサン石油會社重油特約店

諏訪電氣株式會社カーバイト特約店

茨城縣下舘驛所（電話五五番）

商號　吉田油槽所

本店　關彰商店

常磐線平町一丁目（電話六一番）（九〇二番）

關彰商店平支店

時計　貴金屬　眼鏡類　蓄音器　商

平町五丁目

金光堂時計店

電話七三六

修理ハ早ク良ク仕リマス

平町南町

上田醫院

電話一二九番

平町田町

高久病院

電話五一三番

入院隨意（自家の便あり）

X光線科

外科專門

平南町

上田外科醫院

電話一二九

平町五丁目角

大販賣店　山野邊藥局

挽くに荷がない 平町の搬夫連

全く目も當てられぬ 悲慘な勞動者

石城郡地方は昨年暮以來の不景氣が總選擧以來いよ〳〵深刻に食ひ入り農村はかりでなく直接にこの不況に喘いでゐるのは何と言つても筋肉をその日の糧とする勞働者達だらう、平町における其れ等勞働者の代表的なものでその日暮しの搬夫の生活について見ると最近全たくあぶれ通しで挽きたくも荷物がないといふ有樣で一日五十錢の運賃もろくに取れぬ者が毎日どの位あるか知れないといふ狀態である、今迄はどんなに少い日でも一日一圓や一圓五十錢は樂にあつたのに金解禁の斷行、果ては緊縮による經費節約等々の打擊を喰つてこの等勞働者の階級は全く目もない悲慘な有樣を現出して居る最近の不況に市内の各商店では新荷仕入を手控へにして現在有合はせの商品で何とか繰廻しをつけて働く爲に驛を通じた巻荷送り荷の率もつ切り減少を示し殊に最近の如きおびたゞしいトラックの躍進に押わて今や之等の搬夫等は全たく不況のドン底に苦しむより外ない慘澹たる狀態にあるのである

勿來町の豫算

四百圓を削減

石城郡勿來町決算豫算町會は去る七日より一日まで開催、前年當初豫算五萬九千七百六十四圓であつたが繰縮のため九千三百十一圓に削減したが更に學級の縮少教員役場書記の減首等人件費にまでおよび原案より更に削減四百三十九圓を計上し漸く決定されたが歳入五萬百十四圓歳出經常部四萬三千五百九十四圓臨時部六千五百二十圓である

裁判沙汰になつた 染物屋の騒動

草野氏の損害請求で 平區裁判で開廷

平町鎌田町、草野七五三之助氏は平町南町染物業酒井廣吉氏外三名を相手取つて損害並に慰籍料五百圓請求の訴訟を提起した事件の第二回公判は來る二十五日平區裁判所に於て開廷されることになつた、事件の筋は平町私立磐城佑賢學舎では大和田學舎長の熱心努力により業績逐年見るべきものあり石城地方に於ける中等學校の權威として入學者年々增加の實を示してゐるが更らに内容の刷新を計る爲め來る新學期より職員として元本縣師範學校教諭樺太高女校長田中市郎、早大商學士鈴木惣平、藤田女學校長藤田榮助、久之濱町會議員千葉財次郎氏を新たに加へ大いに刷新を計ることになつたが同校よりの今年度本縣師範に入學受驗生六名中四人及第し磐中轉學或は代用教員として直ち實社會に活用されるもの極めて多く（各地中學校の入學難と不景氣の昨今同校への入學志望者は極めて多く好評を博してゐる）

磐城佑賢學舎が 内容の一大刷新

有力な四教諭を迎ひ 新學期に備ふ

原告草野氏は平染物業組合長にして昨昭和四年九月廿六日組合員と諮り京都市土手町染物師平櫻留吉氏を招聘し組合主催の下に新染料應用の講習會を開催を不能ならしむる目的で平櫻講師に旅費を與へ逃走せしめたるもので原告草野氏の損害と組合長としての榮面を汚損されたと云ふ主張であり一方酒井氏外三名の被告側は平櫻講師の新染料應用は既に組合員が習得してゐるので講習の必要なく宿泊料が無いと云ふので二圓の金を與いただけであると主張し相讓らないが二十五日には、阿部傳六外二名の證人調べがある筈

平町に托兒所を

無産階級の爲めに

清野澄子

近年都會を中心に遠く地方農村に到る迄、託兒所の設置を見るやうになりましたが、これは誠に喜ばしい傾向と云はねばなりませんしかし今日農村のそれはさて置て都會における託兒所の在家の目的は主として下層階級即ち勞働階級の家庭といふ人々の爲めに設けられてあるものでありましたしかし時代はさうした階級に屬する婦人のみが家外勞働に從事してゐるかと云へば、さうではありません無産知識階級の婦人にして幼兒を見るやうにしながら家外勞働に從事しなければならない人々を深由見受ける樣になつて來た今日です、一家の主婦であり母である婦人が、家庭内の仕事を當然なさねばならない立場にあつて、更に社會に出て家外勞働にあたる事がその完全を期する事が出來るか――本當に子供の養育といふ事を考へる場合それは不可能な事でなければなりません、かういふ立場にある婦人にとつて幼兒のある場合一番問題となるのは母親の留守中における幼兒の養育であります、在家が多くは祖母のある處では祖母にまかせつきりであるとか、又は姉妹たちのある人はその人たちに依託したり、さもなければ女中にまかせてありますがそれもたばあさんとか叔母さんといふ立場にある人に頼む事は他の場合よりも多少は安心であるけれ共、あかの他人即ち女中にまかせにする場合は、その女中の教養如何によりその子は親の氣づかない思ひがけない方面に伸びてしまふといふ事があります、かうした問題に直面した時、後になつて矯正出來ると云へ教育精神から云つては既に手遅れになつてしまひます、そこで問題になるのは、さうした家外勞働を持つ母親自身にとつて幼兒の教育を如何にするといふ事です學校において多くの教へ子を持つ女教師の子供に不良な子を數へる事も少くありませんが、相當の理解と知識を持つ母親の子供で、母親が白晝家に居らないばかりに、惡化してゆく子供も少くありません、さうした母親だの事が大きな惱みとなつて暗い影もちに入つてしまひます。處でこゝに無産知識階級の婦人のため何うしても必要となつて來たのは、さうした階級と環境にある幼兒のため託兒所を設置する事の急である事です、さうなれば女中も置く必要もない

女中に要する費用は

生まれるわけです、そして母親は安心して働く事が出來る、かういつた要求を社會に持つ若い母親が最近各方面に見受けられて來ました、しかて社會は未だ無産知識階級の人々の爲めに託兒所云々と云ふ事には積極的方法が講じられて居ない樣です、現在でも多少この意味にたけをたく兒所が僅ながら數へられてゐます社會の實情から云つてかうした階級の人々のためにとそたく兒所が普及されなければならないのではありませんによつて託兒所への費用はすまいか

二町八ケ村の少年火防隊組織

縣下初めの計劃に 植田署の管内

植田署では管内の錦村が昨年少年火防隊を組織し弄火を戒め火防に努めた結果が非常に見るべきものがあるので明十六日開催の管内消防組幹部大會に協議題として少年火防隊組織に關する案を提出し賛成多數の場合は管内二町八箇村に各少年火防隊を設置せしむることになつた、錦村の好成績は鑑み右案は當然可決され實現するものと思はれるが一警察署管内町村全部が少年火防を組織することは未だ縣下にないので非常に期待されて居る

植田管内組頭會

協議と指示事項

植田警察署管内植田消防協會幹部大會は明十六日午前十時から植田町菊田座に於て開催植田署長から訓示、注意があつたのち協議を行ふがその内容左の如し

一、組員の規律に關する件
二、機械器具設備に關する件
三、機械器具整頓手入に關する件
四、水利調査及貯水池設備に關する件
五、被服保存手入整頓に關する件
六、電氣工作物に關する注意の件
七、山林火災豫防警戒に關する件
八、愛林思想の普及宣傳設備に關する件
九、屋上改善に關する件

△協議事項
一、昨年度錦村に於て少年火防隊を組織したるに其成績活潑大に見るべきものあり本年度各町村に於て是が組織を望む意は如何

△注意事項
一、火災現出場に關する件
二、協會費納付に關する件

磐城共濟病院

内科部長後任

平町磐城共濟病院内科部長中西林藏博士の後任者は仙臺市大河原病院醫學士猪狩政雄氏に決定今十五日着任する

乘合自動車 川に顚落

乘客は無事

小名濱町湯町中の坪馬目自動車部運轉士玉川村大原生武恵亨(二〇)は去る三月十四日午後五時乘合自動車操縦し平町に進行中同町長橋三丁目十四番地三角江筋に墜落したが死傷者は無かつた

植田獵友會

廿一日に總會

植田獵友會幹部會は植田警察署内に開催されたるが其總會は來る廿一日上遠野村根岸坂本屋旅館に總會を開

代書人訓示

平警察署で

平警察署では今十五日午前十時から平署管内の代書業者約三十名を同署講堂に集め荒井署長から訓辭があつた

生れは遠洲濱松在 酔つ拂つた菊松殿

平署留置場の巻

十五日午前九時半頃平町字置場の中に叩き込まれながら南町通りを泥酔して徘徊し通行人に喧嘩を吹きかけ暴行を働らいてゐる一見四十歳前後勞働者体の男があるのを警邏中の池澤巡査が發見檢束して保護を加へようとした處ろ今度は巡査に喰つてかゝり手が付けられないので本署に拘引留置したが此の男は内郷村六字白水不動澤炭礦坑夫坂場菊松と留置場の中に叩き込まれながら係官から住所氏名を訊ねられ「知らずば言つて聞かそう」生れは遠州濱松在で六代目張りの大見得をきつて酒の酔がさめるに從がつて青菜に鹽のやうに肯化萎つきもう呑みませんのん一生のお願ひですから出して下さい」と哀れな聲を出して係官に嘆願してゐた

先山夫慘死

石炭の下敷き

石城郡内郷村高坂磐城炭礦先山夫宇山信(三〇)は去る十二日午前七時頃同礦ボケツトに於て石炭の下敷となつて壓死したと

◆訂正 十四日夕刊二面四倉本産補習學校の卒業式は三月十九日を訂正

重傷 坑夫死亡

落盤の下敷きで

石城郡内郷村大字高坂磐城炭礦先山夫中田信(三三)は去る十日午後十時頃同礦北第二坑に於て作業中大落盤の爲め重傷を負い直ちに同礦東白河郡農會で目下開催中と損害總額は四千三百九十

大浦倉庫在米

共同倉庫米組合では今十五日午前十時から四倉縣前大十分頃同坑新四坑にひて採炭運搬中俄然高さ二尺餘が十一日午前六時三十分遂圓で町村別に見ると左の如し

△植田町皆無△勿來町一度二百二十圓△泉村一度六百圓△渡邊村皆無△入遠野村皆無△上遠野村四度三千三百圓△山田村一度二百二十圓△錦村一度五十圓△川部村皆無△田人村皆無

植田警察署

管内の組頭會

植田警察署では昭和四年度中管内における火災統計を明十六日の管内消防組幹部大會に報告するが右調査による

△注意事項
一、火災現出場に關する件
二、協會費納付に關する件

平署管内の

組頭會

二十二日開催

平署管内二十二箇所の消防組頭會は來る二十二日午前十時から平署講堂に開催され春季消防檢閲日割に關して協議する筈

講習生見學

白河から平町へ

東白河郡農會で目下開催中

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

平の救世軍

二十六日紺館式

平町救世軍平小隊では舊六丁目支部を今程白銀町に移し紺館式を來る十六日午後七時三十分から盛大に行ふが一般來觀者を希望すると

岡田氏病む

同業磐城時報編輯長岡田弘成氏は十二日午後十一時突然自宅で腦貧血を起し川井醫學士の治療を受けてゐるが十四日夜に至り再び病症を發し引きつゞき休養中である

平町人事

△結婚
五丁目熊谷長治氏長女君子(二五)夫神谷村大字中神谷字石脇長保藤男氏三男高(二七)

△出生
立町鈴木率殻氏八男治郎
月見町喜多八百氏五男榮一

△死亡
五丁目鈴木梅吉氏父政太郎(七一)

石城郡の

理髪總會

廿六日四倉座

石城理髪業組合第三回總集會は來る二十六日舊二月二十七日四倉座に於て開催すると

第二十四回 生徒募集
一、卒業ハ産婆 看護婦 兩科通して一ケ年
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノモノ
一、申込期日 四月八日迄
平南町
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ
電話(三〇七番)

浪界の一人者
木村重友師一行
近日來る
吉川小虎丸特別出演
平町重友後援會

○ツの石炭特色
目方の正確
○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります
◎石炭は只單に一俵いくらと申して目方が正確なければ其に安くとは申されません
◎當店は目方の正確を期する爲めに
正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢と定めました
品質の優良
○ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります
○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御禁に召す樣に致しますから
電話二三七番へ
平駅前
◎ツ 阿部石炭商店

東京專習學校
生徒募集
一、二學年、研究科、尋正本正、養成
一年は商卒。二年は中三修研究科中卒。無試驗入學を許可。師範學校同程度。申込み至急
東京專習學校
神田駿河台 鈴木町
電話 神田 二七一〇